

遠野ふるさと村等指定管理料に係る増額補正等を審議・可決

議案第64号

賛成討論

予算等審査特別委員会の審議では、清養園クリンセンターの今後について、市立幼稚園・保育所の保育協会への移管について、血液透析療法患者の輸送対策などの質疑が行なわれる中で、特に遠野ふるさと村等指定管理料の増額補正についての考え方が活発に質疑されました。

この補正予算では、遠野ふるさと村等の施設管理委託料として、指定管理者の遠野ふるさと公社に、3,500万円を増額して支払う予算が計上されました。同公社は平成26年度決算において約4千万円の赤字を計上しており、この補てん分ではないのか、また、今回の計上に至った背景や今後の影響と取組方針について質疑が交わされました。

これまでの経緯として8款の土木費の遠野風の丘機能充実整備事業費も関連ある予算として同時に審議されました。市の発表を報じた一部の新聞において、市がふるさと公社の経営を、施設管理委託料の形で支援する旨の報道がなされたことで、赤字補てん目的ではないか、場当たりの支援が常態化するのではないか、観光客の入り込みに影響するのでは、と懸念する質疑が多くありました。

審議において、改めて市当局の考え方の整理や説明が必要との判断から、予算等審査特別委員会の審議を一時中断して、議員全員協議会が開催されました。これまでの経緯と今後の改善策及び対応策についての説明と協議が行われ、経営改革3カ年計画と改革案、当事者意識を持った改善等を確認して、委員会の審議を再開、賛成者多数で可決しました。なお、最終日の本会議においては反対・賛成それぞれの立場から討論が行なわれました。(討論の内容は下記のとおりです。)

反対討論

ふるさと公社そのものは経営責任者である市長はじめ、市幹部が役員等で参画しており、今回の事件発生以前からのチェック機能が発揮されておらず、契約期間中の補正予算計上対応は認められないものである。他の制度も検討の上に契約更新時に、見直しを行い、事前説明を行いなから、改めて提案をすべきであると考えます。風の丘機能充実整備事業費7,475万4千円についても、国の予算確保の見通しが立たない中で、少なくとも、遠野インター開通後の利用状況や国の予算措置等を見据えながら計画すべきであり、厳しい財政状況の中で2つの事業に一般財源約1億1千万円余を投入する今回の補正予算には反対する。

菊池 充議員

放射能汚染等風評被害

これは、震災と原発事故



議会の動き(7~10月)

Calendar table showing council activities from July to October. Columns include dates and descriptions of events such as committee meetings, public hearings, and official ceremonies.

お詫びと訂正

前回発行のおの議会だよりNo.42で掲載しておりました8ページの「政務活動費を公表します」において、記載誤りがありました。該当箇所と数字は下記のとおりですので、お詫びして訂正いたします。(訂正箇所は下線部分です)

Table with 10 columns: 議員氏名, 交付額, 調査研究費, 研修費, 広聴費, 資料作成費, 資料購入費, 支出合計, 政務活動費分支出額, 執行率. It lists financial data for several council members.